

## 権力と一体となった 内部からの組織破壊者を許すな！

9月7日付『信濃毎日新聞』で、「JR東日本運転士が、集団で暴行を受け、精神的被害を受けたとして、JR東労組の22名を傷害容疑で告訴状を佐久署に提出した」と報道されている。

また13日には、斉藤藤俊・新潟地本元委員長をはじめとする三十数名の組合員がフジテレビなどのマスコミを引き連れ、「情報公開請求」なるものを持参してJR東労組本部へ押し付けてきた。このなかには『週間現代』に登場した「本間」もいたようである。

彼らの『情報公開請求』の内容は、上記の傷害容疑の件を含む8項目で、最近、『週間現代』で執拗に書き立てられている会計に関するものがほとんどである。

これら一連の動きは、何といおうと「えん罪・浦和電車区事件」や不当な家宅捜索など、権力による大弾圧と一体となった行為であるといわざるを得ない。「JR総連＝革マルキャンペーン」や「業務上横領」などのデッチ上げによるJR総連破壊のための攻撃を、内部から支える行為である。

私たちは、このような行為を絶対に許すわけにはいかない。新たな弾圧にさらされている22名の仲間にも最大限の支援・激励を行うと同時に、反弹圧の闘いをさらに強化する！

22名の仲間とともに  
新たな弾圧に抗し闘おう！